



ぬえ
鴉
と少年

DOJIN
R18
成人向け

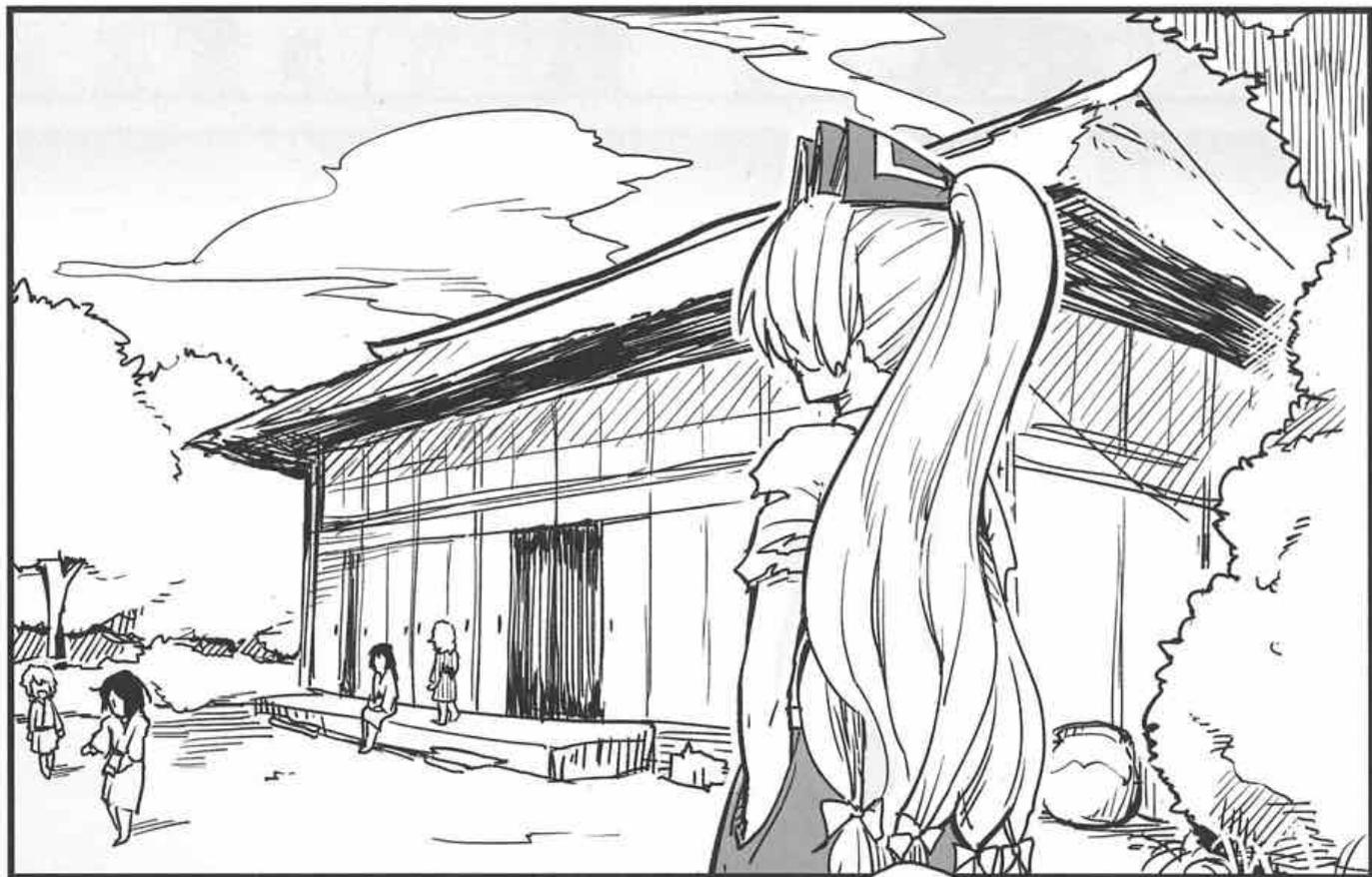
18歳未満の
購入・閲覧禁止

"Nue and a Boy"
Touhou Project Fanbook Presented by Goroumaru





いいよ♡





ちなみに
人間だよ

慧音の
身内さ

誰？



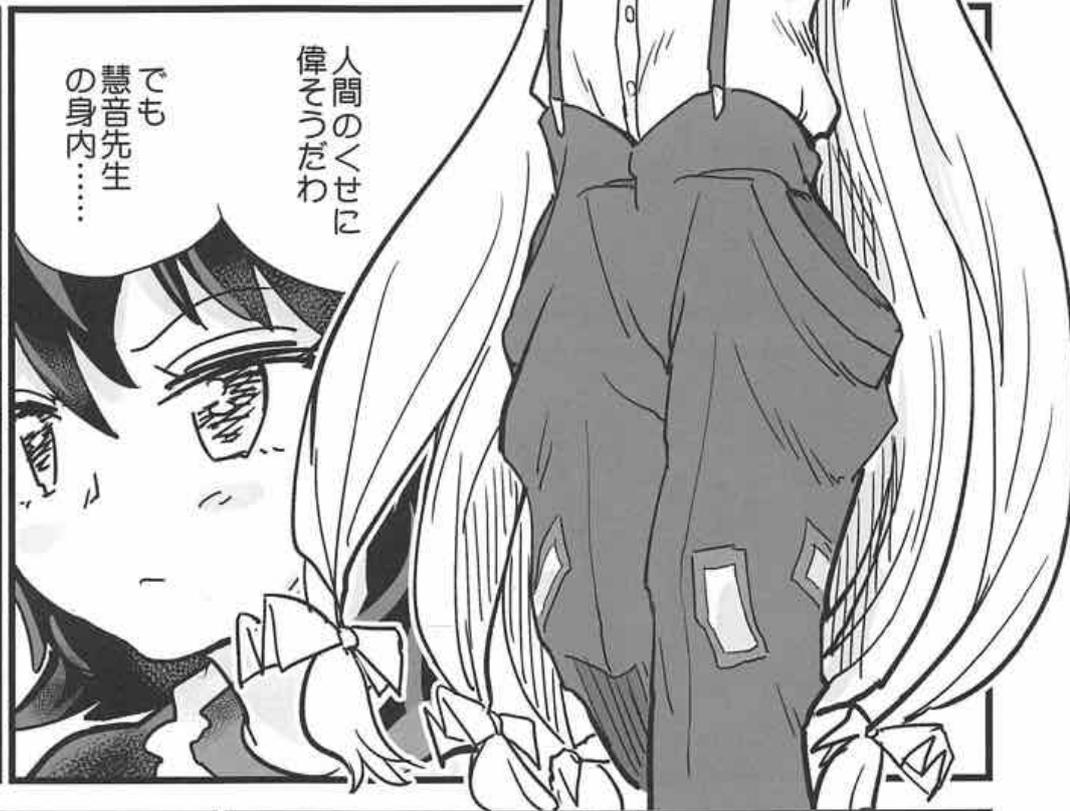
よろしく

パ
ン
ク
リ
ン

ヨロシク
オネガイシマス

解放されてからは
寺の一味だと
聞いてたが……

おんた
の
ほろが



人間のくせに
偉そうだわ

でも
慧音先生
の身内……



知ら……

知りません
デス

適任なのか？

それで寺子屋に
おまえが？

かっちり



慈善活動の
一環か？

ぎゅ

これは

そんなと

デ



*トラック三



ピンピン



あれ？
耳が…



来たわね



放課後



ねー

キミさあ

なんで
呼び出されたか
わかってる？



せ

先生？

ぬえちゃん
いいよ

おねえちゃん
いいよ





今も脚
ジロジロ
見てる

え

あ



さっき私の
パンツ見て
顔赤くしてた
でしょ



ふふ

ぽん



ただ
キミを...

特にないの

呼び出した
理由ね



メチャクチャに
したいなーって

思っただけ



NONNONかな
僕...



なに
これえ…

わッ

ぶ
ど
ぶ…

ふふ

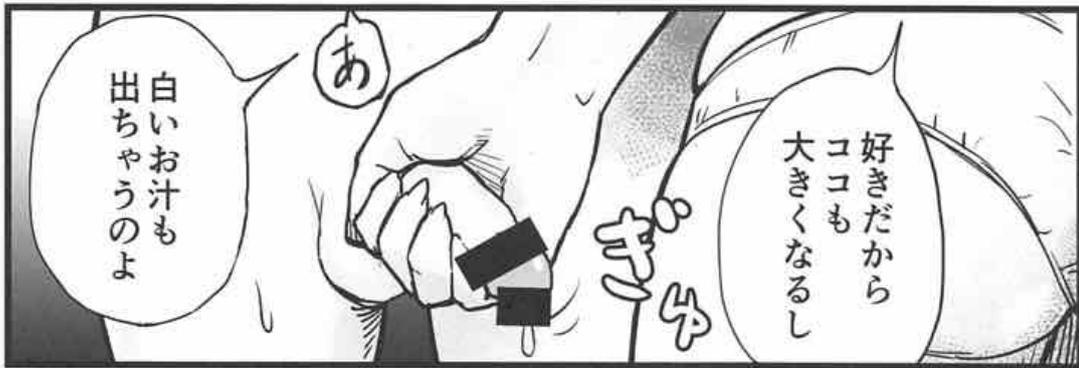


♡
♡
♡

びゅん

もろもろ

♡
♡
♡
♡



あ
白いお汁も
出ちゃうのよ

好きだから
ココも
大きくなるし

きゅん



ぽ
ぽ

…でね

私のことが
好きなのね

キミはね…



ココが

くにゅん

こんなに風になっちゃうの



私もキミのこ
好きだから…



むん



ゴク



ぱあ

トロッ



このナカに
入れたい...?

入れちゃうよ

ん

っんっん

入れたいよね...

入れちゃう
から.....

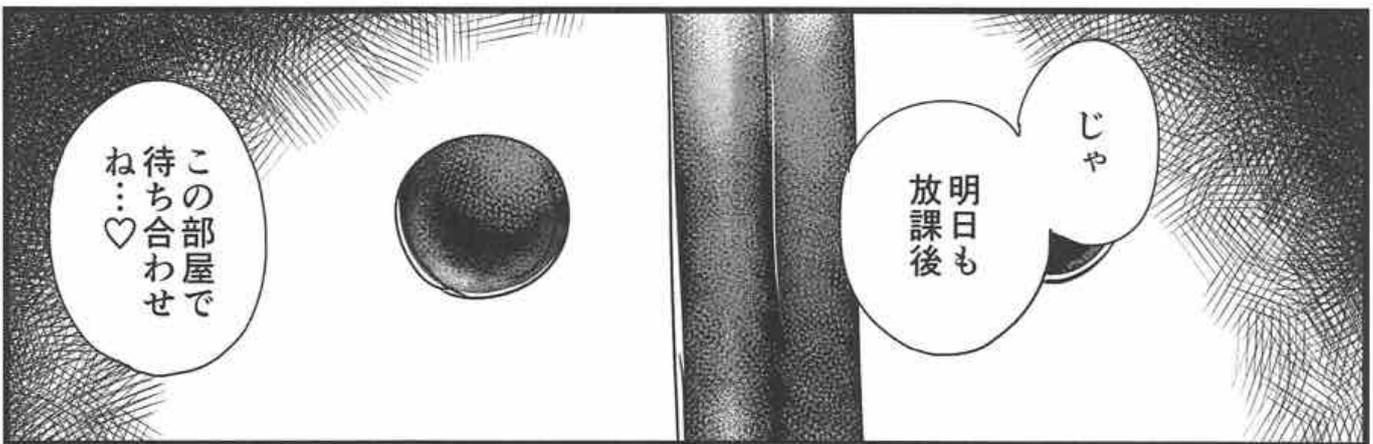
ん











次の日

はすはす

ふんふん
にゅにゅ



上手上手♡

あゝあゝ



ぬえちゃんの

おしりい...♡

はすはす

うん...♡

あはは



おしり好きなのー？

う

う

じゃ今日は好きなので突いていいか







ひもひい?

ぬちよ...

うんうんッ



う
あうッ

ぢゃほっ

んっ
んー♡

ぢゃほっ



あっ

ぢゃほっ
ぢゃほっ

あ
あ



やわらかくて
にゆるにゆる
なのが

くちのなかで
ぐるぐる
うごめいてて...

ふほっ
あとこういう
のもあるよ





きもち

いいかも...

かわいすぎか

000



ぬえちゃん
こわいよう

わはは
怖いでしょ

こ
こわい
けど...



私妖怪なのよ?

妖怪に
襲われて
無理やりされて
気持ちよく
なっちゃうの?

ねえッ

そ

それでも

ぐちゃぐちゃ



わ
な
なにこれ

はわわわあああ♡♡♡

すっごい
キツくて…



それでも
ぬえちゃんが
好き

なの…

どっさり♡♡♡♡♡



はあ
ああ
ああ
あん

イツ…♡

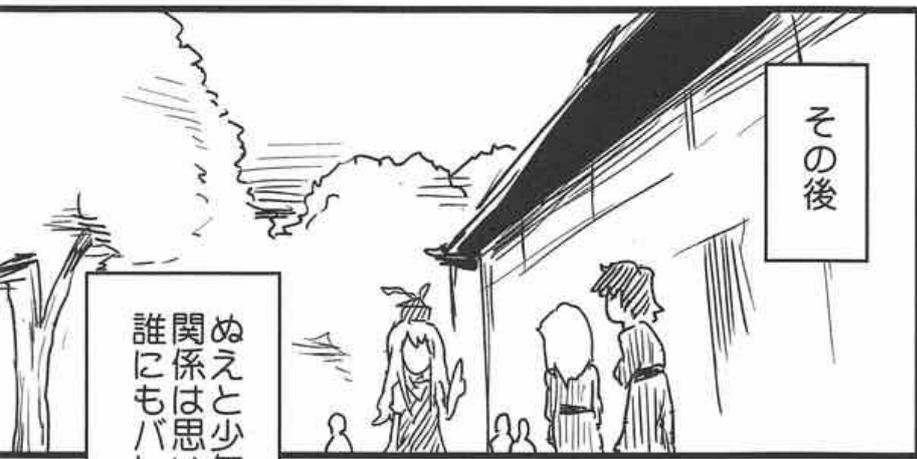
だっさり♡



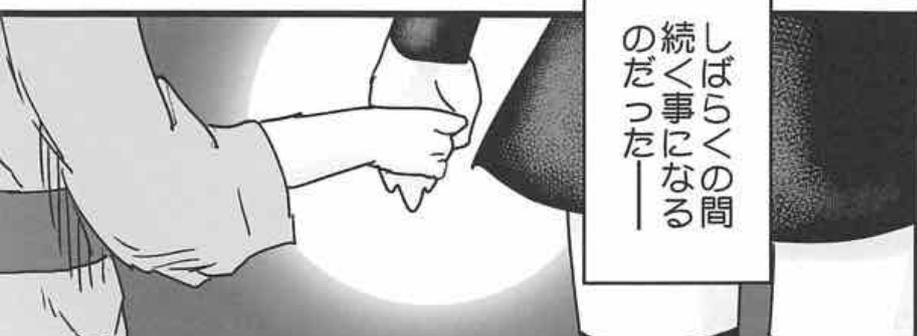
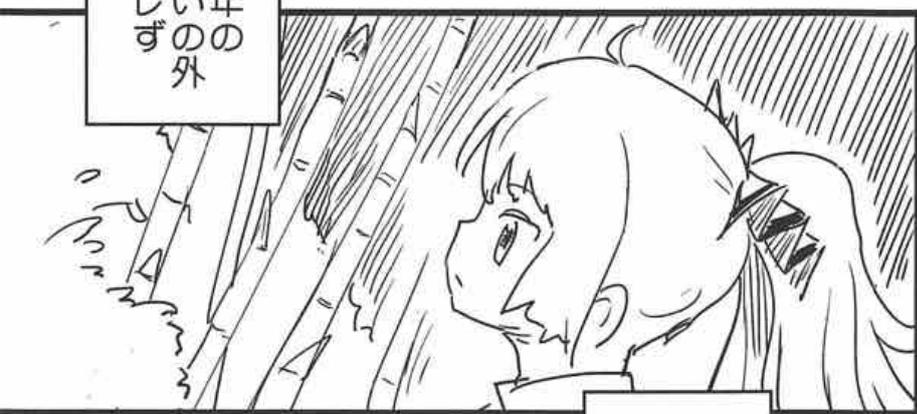
で
でちゃッ

うっう

わ
私もッ



ぬえと少年の
関係は思いの外
誰にもバレず



上白沢慧音の思惑

「お寺の妖怪と触れ合おう」がテーマの課外授業は成功したと見ていいだろう。

命蓮寺に「従順で人畜無害な妖怪を」という要望を出したところ派遣されてきたのがこの子で、最初は心配だったのだが、何の事は無かった。ぬえはいい子だ。

藤原妹紅の思惑

慧音の寺子屋に妖怪が入り浸っていると聞いた。しかもそれがあの鶴であるらしい。

「監視しなくては」と思い立ったが、いざ実際に触れ合ってみると、あの頃に噂されていたような危険な妖怪にはとても思えなかった。常に監視している必要はないのかも。定期的な巡回にとどめるか。

聖白蓮の思惑

寺子屋からの依頼を利用して、ぬえに社会経験をさせよう。

寺と仏教をアピールするのもってこいの企画だし、良いことづくめである。

なお、ぬえには裏ミッションを課した。

「馴れ合うだけでなく、妖怪は人間にとっての脅威であるという事を知らしめなさい。無論こっそりとね」

たまに見に行く感じだと問題は無さそうである。寺子屋からの評判も上々だ。

あとはぬえが裏ミッションをこなしている事を願うのみ。

封獣ぬえの思惑

なんかかわいい少年いたから犯しちゃお。あれ、でもこのコ私に本気になってない？

聖に言われた「妖怪の恐ろしさアピール」を頑張ってみたけど、

「それでも好き」って言われた。……嬉しかった。

私も好き。

鶴と少年

原作

- 東方Project
- (c) 上海アリス幻楽団

発行

- 560(ゴロウマル)

著者

- 五郎丸
- Twitter: @56_0
- pixivID: 7961836
- HP: <http://560.main.jp>

発行日

- 2016/12/29 (コミックマーケット91)

印刷

- サンライズパブリケーション株式会社 様

